

<p>【技術の名称】 フィルフレーム工法 ースーパーフィルクリートを用いた外付け耐震補強工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-10号 性能証明発効日：2011年11月29日</p> <p>【取得者】 株式会社浅沼組</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存建築物を対象とした外付け耐震補強工法である。本工法の特徴は、補強鉄骨架構と既存躯体との間接接合部の充填材として無収縮高流動コンクリート「スーパーフィルクリート」を用いること、および補強架構としてラーメン架構を使用できることにある。スーパーフィルクリートは、2009年5月12日に(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第09-01号において、その施工性および材料的な性質についての証明を受けた材料である。

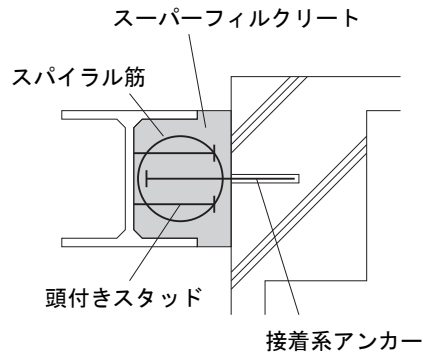
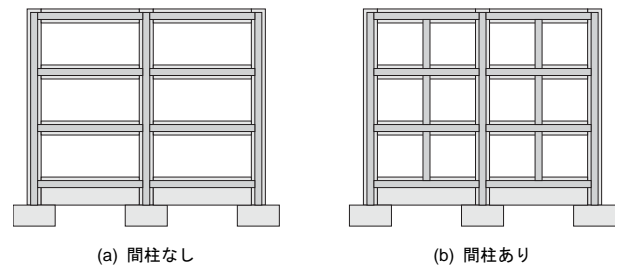


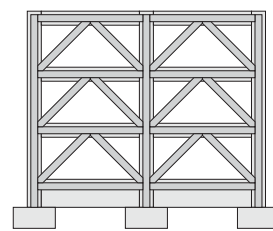
図1 間接接合部の概要

【技術開発の趣旨】

「外側耐震改修マニュアル」による従来の鉄骨ブレースによる耐震補強工法では、高い耐力が確保される半面、屋外面の遮断部が大きく、美観を損ねる面がある。また、間接接合部に使用する無収縮グラウトモルタルは、コストや工期への負担が大きく、特に大規模な使用に対してその傾向が顕著であった。本工法は、前者に対しては、ラーメン架構もしくは間柱を有するラーメン架構による補強を行うことで、また、後者に対しては、低コストで大量供給に適し、工期の短縮が可能な「スーパーフィルクリート」を使用することによって、これらの問題を解消することを意図して開発したものである。



(1) フレーム型



(2) ブレース型

図2 補強架構の種類

【性能証明の内容】

申込者提案工法による外付け鉄骨架構と既存架構からなる耐震補強架構は、フィルフレーム工法「設計指針」で定めた終局耐力および変形性能（耐震診断に用いる靱性指標 F 値）を有すると判断される。

【本技術の問合せ先】

株式会社浅沼組 技術研究所 担当者：中澤敏樹
 〒569-0034 大阪府高槻市大塚町三丁目24番1号

E-mail：nakasawa-toshiki@asanuama.co.jp
 TEL：072-661-1620 FAX：072-661-1730